

キリンビール 2013年10月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、天候不順の影響などもありマイナス。
- ビール計は、マイナスとなったものの、飲食店の樽は累計ではプラス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、マイナスとなったものの、「澄みきり」は当初目標を上方修正するなど好調に推移。

《ビール》

- ◆「一番搾り」計は、マイナス。「一番搾り」樽は、「一番搾りフローズン<生>」「一番搾りツートン<生>」などの好調により10月までの累計でプラス。
- ◆全国6カ所で展開したコンセプトショップ「一番搾りガーデン※」は、9月末で年初目標の37万人を突破。この好評を受け、年末に向けて来店目標を40万人に上方修正。
※東京店のみ12月末まで展開

《新ジャンル》

- ◆「澄みきり」の販売数量は10月下旬に400万ケースを超え、目標を520万ケースに上方修正。また、これまで製造していた4工場に加え、12月中旬より新たに福岡工場での製造を開始する。
- ◆「のどごし<生>」は、冬限定商品などの影響を受けたものの、下旬以降は改善傾向。「のどごし 夢のドリーム」企画を売場と連動させるなど、年末に向けて施策を継続的に投入する。

《RTD》

- ◆10月は「氷結」「本搾り」「カリブーン」「ドライリッキー」などの主力ブランドからそれぞれ新商品を発売して好調に推移しており、RTD計は約1割以上のプラス。

以 上